

令和8年度 通信教育実施計画

松陰高等学校（本校／各学習センター）

教科		科目		単位数	履修上の留意点		
理科		生物基礎		2			
指導 目 標	・日常生活や社会との関連を図りながら、生物や生物現象について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付ける。						
	・観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。						
	・生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。						
教科書				副教材等		添削指導	面接指導
改訂新編生物基礎						6回	8 単位時間
多様なメディアを利用した学習による 面接指導時間数の減免実施の有無			☐	実施している	多様なメディアを利用した学習に よる減免後の面接指導時間数		該当なし
			☒	実施していない			
添削指導（レポート）							
回	学習内容					対応する 面接指導の回	提出期限
1	生物の多様性と共通性、生物とエネルギー					1	4月24日
2	遺伝子情報とDNA					2	6月30日
3	遺伝子情報とタンパク質					3	7月27日
4	ヒトの体を調整するしくみ					4.5	11月25日
5	免疫のはたらき					6.7	11月25日
6	植生と遷移、生態系と生物の多様性					8	12月24日
面接指導(スクーリング)							
回	単位時間	学習内容				実施場所	実施日
1		生物の多様性、共通性について理解させる。				各学習センター	4月
2		生物と遺伝子、特にDNAについて理解させる。				各学習センター	5月
3		DNA（遺伝）について更に理解を深めさせる。				各学習センター	6月
4		DNAの複製と分配について理解させる。細胞の分化と遺伝子についても理解させる。				各学習センター	7月
5		ヒトの体を調整するしくみ（神経系やホルモン）について理解させる。				各学習センター	10月
6		ヒトの体を調整するしくみ（血糖値濃度）について理解させる。				各学習センター	11月
7		免疫について理解させ、さまざまな疾患について知る。				各学習センター	11月
8		生物の多様性と生態系について理解させる。生態系の保全について考察させる。				各学習センター	12月
多様なメディアを利用した学習							
計画段階では実施予定なし							
試験							
回数	試験範囲					実施場所	実施日
1	レポート1～6					各学習センター	9月
2	レポート7～12					各学習センター	2月
学習の成果に係る評価及び単位の修得の認定に当たっての基準							
添削指導、面接指導、試験の結果を総合的に評価する。							
所定の添削課題の提出、面接指導の受講、試験の受験を満たし、学習成果が認められる場合に単位を認定する。							
その他							
各学習センターでは本校の通信教育実施計画及び指示に従い実施する。施設状況や生徒の状況等に応じて日程・実施方法を調整する場合も、本校の承認又は指示のもと、指導内容・評価・単位認定基準に変更が生じない範囲で対応する。							